

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2021-9423(P2021-9423A)
 【公開日】令和3年1月28日(2021.1.28)
 【年通号数】公開・登録公報2021-004
 【出願番号】特願2020-184949(P2020-184949)
 【国際特許分類】

G 1 0 H 1/32 (2006.01)

【F I】

G 1 0 H 1/32 Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年5月24日(2021.5.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明に係る鍵盤楽器は、一端側に設けられ、押鍵時に押し下げられる力点部と、他端側に設けられ、押鍵される鍵に対して荷重を加える錘部と、前記力点部と前記錘部の間に設けられている支点部と、を有する複数のハンマー部材と、押鍵時に前記支点部を中心に前記ハンマー部材が上下方向に揺動するように、前記複数のハンマー部材を保持している保持部材、が設けられている下部ケースと、前記下部ケースから上方向に延びるとともに前記鍵の長手方向に延びるリブ形状の補強部材と、を備え、前記補強部材は、隣接する2つの前記ハンマー部材の間隙に設けられ、各ハンマー部材が前記支点部を中心に前記鍵の配列方向に揺動した場合であっても前記錘部が当接しないように、前記錘部に対応する部分が他の部分よりも低くなっていることを特徴とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一端側に設けられ、押鍵時に押し下げられる力点部と、他端側に設けられ、押鍵される鍵に対して荷重を加える錘部と、前記力点部と前記錘部の間に設けられている支点部と、を有する複数のハンマー部材と、

押鍵時に前記支点部を中心に前記ハンマー部材が上下方向に揺動するように、前記複数のハンマー部材を保持している保持部材、が設けられている下部ケースと、

前記下部ケースから上方向に延びるとともに前記鍵の長手方向に延びるリブ形状の補強部材と、

を備え、

前記補強部材は、隣接する2つの前記ハンマー部材の間隙に設けられ、各ハンマー部材が前記支点部を中心に前記鍵の配列方向に揺動した場合であっても前記錘部が当接しないように、前記錘部に対応する部分が他の部分よりも低くなっている、鍵盤楽器。

【請求項2】

請求項1に記載の鍵盤楽器において、

前記補強部材は、前記下部ケースと一体的に成形され、前記下部ケースの前後方向の強度を補強するように設けられている、鍵盤楽器。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の鍵盤楽器において、

前記ハンマー部材は、前記錘部と前記支点部との間にハンマー本体を有し、

前記錘部は、前記鍵の配列方向の厚みが前記ハンマー本体よりも大きく、下方への動きに対して下限が設けられており、

前記補強部材は、前記ハンマー本体の下側の第 1 部分が前記下限よりも上に延びており、前記錘部の下側の第 2 部分は前記下限よりも上に延びていない、鍵盤楽器。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の鍵盤楽器において、

前記補強部材は、前記各ハンマー部材が前記支点部を中心に前記鍵の配列方向に揺動した場合であっても前記錘部が当接しないように切り欠かれた切り欠き部、を有する鍵盤楽器。